
漂白された空

手塚 大一

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

漂白された空

【Zコード】

Z2759M

【作者名】

手塚 大一

【あらすじ】

物語は、一護たちと同じ学校に通っていたが、ある日死神になった少年の話から始まる。

一護たちの戦いに、もう一人の死神がいたら?
そんなパラレルワールドを描いた話です。

サヨナラを告げた後

雲ひとつないまつ白い空。

……。

ここはどこだらう。

僕は、やつままでどんよりした雲が
空を埋め尽くしているビルの屋上にいた。
そして僕は、家族に、友達に、自分に、世界に、
サヨナラをした。

なのに、なのに、どうして僕は今、
雲ひとつない空をみているんだろう。

僕の名前は、朱音 朱雀 あかね すざく
名前に「朱」が一つも入る。
変だよね？

さつきまでは、空座町 空座第一高校の一一年生だった。
でも僕はこの世界が、自分が、何もかもが嫌になつて世界にサ
ヨナラを告げた
はずだった。

仲間の声

オノ

-
!

どこかで何かがぶつかる音がした。

びくうして立あがると、せり「びくうした。

わ、今まで仰向けになつて空はかり見ていたから、氣

起き上がると僕がいた場所は、なんとも不思議な世界だった。

堅そつな壁があり、

ずっと奥まで続いている。

立派の立派な木の時計には、おもてなしの屋根の家が並んでいた。

そして空だけが限りなく広い。

儀はここかとこががまにたく分からぬい

なぜ廻殺をして、確かに死んだ漢がまだ生きているのか？

はつと、ある考へがうかんだ。

これは、靈界なのではないか？

ここが、靈界と呼ばれる世界なら僕が生きている、いや、存在して

この世界観も異様な風景も、ここが靈界なら話はつく。

僕は少し心が落ち着いた。

ここは、僕が存在していてもいいんだ。

「大丈夫か！？黒崎！！」

「ちつ……あの細め野郎……だいじょぶか！！でっかいおっさん！」

！」

「おいらはだいじょうぶだ」

話声が聞こえる……

よかつたほかにも人がいた。

「あのつ……う、つーー！」

僕は話しかけようとして言葉が詰まつた。

どう見ても普通の人たちではない。

メガネをかけたストレートヘアの男。服装がどう見ても普通じゃない。

ダサイ。

もう一人黒崎と呼ばれた男つ…………！！

あの人…………！！！！

僕がびっくりしたのは無理もない。

黒崎と呼ばれた男は、

本名 黒崎一護

僕と同じ学校の同級生。

彼の家はクロサキ医院という病院だ。

彼はオレンジ色の髪の毛をしていて、一度見たら忘れない顔だ。
中学生のころは、不良だったらしい。
だけどその黒崎くんがなぜここに……

まさか彼も死

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2759m/>

漂白された空

2010年10月14日19時11分発行